

# アイザワ週報

第 2462 号 2021 年 10 月 18 日 審査番号・211011-B3

## 目次

[今週号は 2021 年 10 月 8 日時点の情報を基に作成しています]

投資コラム	: 最近の経済指標	1
日本株銘柄情報	: ベステラ (1433)	2
日本株銘柄情報	: 田中建設工業 (1450)	3

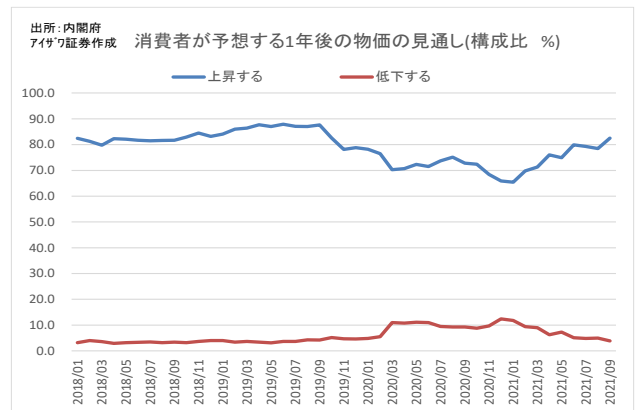
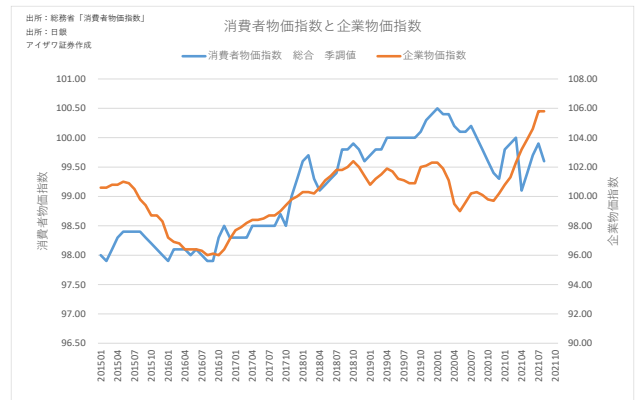
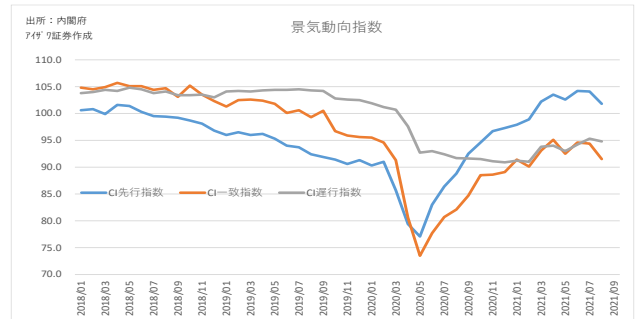
## 最近の経済指標

笹木 義次

直近発表された経済指標を見ると、日本経済は回復が一服して、横ばいへと減速している事がわかります。さらに、予想物価上昇率の上昇が継続しています。このままの傾向が続くと、日本経済は景気停滞下での物価上昇局面になる事を筆者は推測しています。

2021 年 8 月の鉱工業の生産指数は 95.0 となり前月比で 3.2%の減少となりました。景気動向指数の CI 一致指数は 91.5 となり前月差で 2.9 ポイントの低下となりました。どちらの指標も、横ばいかまたは低下に転じています。

2021 年 8 月の消費者物価指数は 99.6 と前月比で 0.3%の下落となりました。ただし、消費者物価に先行する国内企業物価指数と輸入物価指数は上昇基調となっています。また、予想物価上昇率も上昇しています。消費者が予想する 1 年後の物価見通しでは上昇する構成比が上昇しているからです。足元の消費者物価指数は落ち着いていますが、先行指標は先行きの消費者物価指数が上昇に転じる事を示していると筆者は見ています。



# ベステラ (1433)

笹木 義次

## 株価指標

株価 (2021/10/8)	1,481.0 円
売買単位	100株
市場	東証1部
時価総額	127 億円

## プラント解体工事

ベステラは、電力、製鉄、石油、石油化学、環境などプラントの解体工事を行っています。解体工事では工事の管理監督に特化し、施工に関しては専門の協力会社に外注しています。

## 3つの特徴

プラント解体工事に関する独自の工法を持っている事がベステラの特徴です。特に有名なのが特許を保有している「リンゴ皮むき工法」です。「リンゴ皮むき工法」はガスタンクや石油タンクが対象です。従来の解体工法に比べて、工期の短縮やコスト削減を実現しました。現在は、小型の風力発電設備の解体工法の開発に取り組んでいます。

プラント解体工事では下請けが当たり前でした。しかし、ベステラでは元請け比率を高める事でこうした業界慣行を変えつつあります。このような事もベステラの特徴であると考えています。工法の提案、設計・施工計画の立案などプラント解体工事に関する管理能力が施工主から評価されているからです。

最後の特徴としては、プラント解体工事の需要の増加が見込める事です。1960年代に建設されたプラントが老朽化しているからです。また産業構造の転換によるプラント解体工事の需要増加も見込めます。この様に需要の増加が見込める業界に立地している事も特徴と考えています。

## <業績の推移>

決算期	売上	営業利益	経常利益	純利益	1株利益	1株配当
2020/1	3,436	93	97	59	7.3	16.0
2021/1	3,682	124	212	142	17.3	16.0
2022/1計	5,600	450	664	1,357	164.0	16.0

単位: 百万円 (1株利益、1株配当は円) 計画は会社計画によります。

## <投資指標>

連結	
今期予想PER	9.1 倍
PBR	4.25 倍
予想配当利回り	1.08 %

## 今上半期は増益

ベステラの2022年1月期上半期の業績は、売上高が23億35百万円と前年同期比で42.7%の増収に、営業利益は1億61百万円と前年同期比で14.6倍の増益となりました。完成工事高が伸長した事やスクラップ価格の上昇により、営業利益は増益となりました。業種別で見た完成工事高では、電力や石油・石化が増加し全体の伸長に寄与しました。受注高は22億17百万円と前年同期比で22.5%の減少となりました。受注残高は24億56百万円となり、2021年1月末の受注残高25億45百万円とほぼ同水準を維持しました。

## 会社計画達成を推測

ベステラでは2022年1月期の業績は、売上高が56億円と前年比で52.1%の増収を、営業利益は4億50百万円と前年比で3.6倍の増益を計画しています。上半期の進捗率は、売上高が41.7%、営業利益は35.8%です。2019年1月期並みの進捗率です。通期の会社計画の達成は視野に入っていると筆者は推測しています。

51433 00 ベステラ 東証 選定 20/9/30~21/10/4

日付: 21/10/08 始: 1479 高: 1496 安: 1469 現値: 1481.05 出来高: 22.4  
 VC: 約定: 単純移動平均[18] ----- [26] ----- [MA13: 1450.08, MA28: 1531.00  
 SI: 出来高[18] ----- [26] ----- V: 238.3, MA13: 274.815, MA28: 231.773



(C) QUICK Corp. All rights reserved.

出所: AstraManager よりアイザワ証券作成

本資料のご利用にあたり、お客様にご確認いただきたい事項を、本資料の最終ページに記載させていただきました。ご確認の程、よろしくお願いいたします。

# 田中建設工業(1450)

笹木 義次

## 株価指標

株価 (2021/10/8) 2,090.0 円  
 売買単位 100株  
 市場 JASDAQ  
 時価総額 91 億円

## ビル解体工事

田中建設工業は、ビルなど建築構造物の解体工事の施工管理を行っています。実際の解体作業は田中建設工業の協力会社が行います。主なユーザーは、デベロッパーとゼネコンです。

## 3つの特徴

田中建設工業には3つの特徴があります。第1の特徴として、解体工事の現場にITサポートシステム「ALMIGHTY(オールマイティ)」を導入している事です。施工管理ルールの徹底を図る事で、施工管理や安全管理の標準化に取り組んでいます。

第2の特徴として、独自の営業管理手法により安定した受注を確保している事です。田中建設工業では、見積り案件の維持拡大に注力しています。この見積り案件を田中建設工業では営業案件ストックと呼んでいます。日々この営業ストック案件の洗い替えを行い、また新規案件を追加しています。こうした事を通じて、安定した受注の獲得につなげています。

第3の特徴として、ビル解体工事の市場が増加している事です。都市再開発の案件は継続している事、産業構造の変化を反映してスーパーなどが物流施設などへ建て替えが進捗しているからです。また、建物の老朽化による建替えニーズも見込まれています。

## <業績の推移>

決算期	売上	営業利益	経常利益	純利益	1株利益	1株配当
2020/3	6,662	796	831	551	126.8	40.0
2021/3	9,011	1,433	1,458	982	225.8	68.0
2022/3計	9,100	1,268	1,283	866	199.1	68.0

単位:百万円 (1株利益、1株配当は円) 計画は会社計画によります。  
 注意:2020年10月1日付で1株につき2株の株式分割を行いました。1株利益、1株配当は過去遡及しています。

## <投資指標>

非連結	
今期予想PER	10.4 倍
PBR	1.94 倍
予想配当利回り	3.25 %

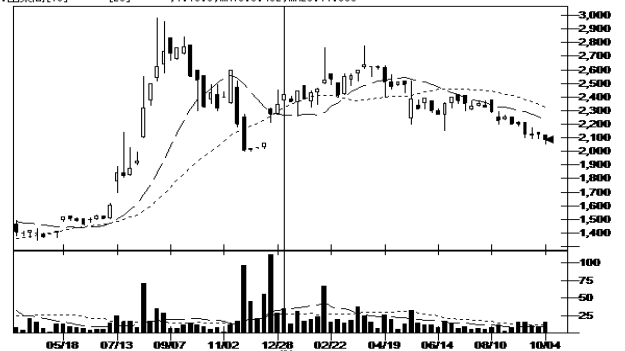
## 今第1四半期は増益

田中建設工業の2022年3月期第1四半期の業績は、売上高が25億51百万円と前年同期比で61.2%の増収に、営業利益は3億17百万円と前年同期比で6.9%の増益となりました。増収効果で費用の増加を吸収して、営業利益は増益となりました。豊富な手持ち工事が売上高に計上された事から、売上高は増収となりました。ビルの老朽化による建て替え工事や物流施設建設のための解体工事が増加しました。

## 会社計画を上回ると予測

田中建設工業では2022年3月期の業績は、売上高が91億円と前年比で1.0%の増収を、営業利益は12億68百万円と前年比で11.6%の減益を計画しています。今期は25名程度の増員を予定しているため減益の計画となっています。筆者は田中建設工業の2022年3月期の業績は、売上高が95億円と前年比で5.4%の増収を、営業利益は13億80百万円と前年比で3.7%の減益を予測しています。ビル解体工事の需要が増加する事から、増収を予測しています。

1450 田中建設 東証 退社 20/3/30~21/10/4  
 日付:21/10/08 高:2079.00 安:2089.00 現値:2090.00 出来高:4.4  
 MC:0.00 純移動平均[18]-----[26]-----MA13:2230.89 MA26:2323.08  
 ST:出来高[13]-----[26]-----V:16.0 MA13:3.462 MA26:11.835



(C) QUICK Corp. All rights reserved.

出所: AstraManager よりアイザワ証券作成

本資料のご利用にあたり、お客様にご確認いただきたい事項を、本資料の最終ページに記載させていただきました。ご確認の程、よろしくお願いいたします。

## 金融商品取引法に基づく表示事項

### ■本資料をお客様にご提供する金融商品取引業者名等

商号等：アイザワ証券株式会社 金融商品取引業者 関東財務局長（金商）第 3283 号

加入協会：日本証券業協会、一般社団法人 日本投資顧問業協会

当社が契約する特定第一種金融商品取引業務に係る指定紛争解決機関：

特定非営利活動法人 証券・金融商品あっせん相談センター（略称：FINMAC）

### 株式の主なリスク

株式は株価の変動等により、損失が生じるおそれがあります。お取引の際は、契約締結前交付書面をよくお読み下さい。

### お客様にご負担いただく手数料等について

国内株式は、取引口座に応じて以下の委託手数料（税込）をいただきます。

対面口座：約定代金に対し、最大 1.265%（最大 149,875 円、2,750 円に満たない場合は 2,750 円）

インターネット口座「ブルートレード」：インターネット発注 最大 1,650 円

コールセンター発注 約定代金が 55 万円以下の場合 1,650 円、

約定代金が 55 万円超 3,000 万円以下の場合 3,300 円

コンサルネット発注 約定代金に対し、最大 1.265%（最大 149,875 円、2,750 円に満たない場合は 2,750 円）

### 免責事項

本資料は証券投資の参考となる情報の提供を目的としたものです。投資に関する最終決定は、お客様ご自身による判断でお決めください。本資料は企業取材等に基づき作成していますが、その正確性・完全性を全面的に保証するものではありません。結論は作成時点での執筆者による予測・判断の集約であり、その後の状況変化に応じて予告なく変更することがあります。執筆担当者または弊社と本レポートの対象企業との間には、重大な利益相反の関係はありません。このレポートの権利は弊社に帰属しており、いかなる目的であれ、無断で複製または転送等を行わないようお願いいたします。

LINE公式アカウント  
はじめました！

ベトナムを中心としたアジア情報  
をお届けします。

[友だち追加はこちらから！](#)



ID : @aizawa